AMERICAN AUDIO

CDI-500™

Featuring:

TEMPO LOCK
ANTI-SHOCK
Sampling
seamless loop
[HYPER PITCH™] (±100%)
POWER TOUCH jog wheel
Q-Start
FX
digital output
CD&CD-R COMPATIBLE
DSP INSIDE! DIGITAL SIGNAL PROCESSING

日本語取扱説明書

SOUND HOUSE INC.
株式会社サウンドハウス
〒286-0044　千葉県成田市不動ヶ岡 1958
TEL:0476(22)9333　　FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American Audio 社製の CDI-500 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。CDI-500 は、抜群の耐久性と高性能を兼ね備えた DJ 用 CD プレイヤーの最新バージョンです。CDI-500 の性能をフルに発揮させ末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管して下さい。

■ ご使用の前に

1. この説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V,50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様にご注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

■ 主な機能

- 8 倍オーバー・サンプリング、1 ビット D/A コンバーター
- オート・キュー
- 1/75 秒フレーム･サーチ機能
- リアルタイム・キュー
- 8 段階のスピード・スキャン（早送り=4 段階、巻戻し=8 段階）
- ピッチ・ディスプレイ
- デジタル・コアキシャル出力
- 大型で様々なアングルからでも見やすいデジタル・スクリーン
- フェーダーQ スタート・コントロール（次ページ a）
- シームレス・ループ（途切れのないループ再生）
- サンプラー（リバース再生可）
- デジタル・アンチショック機能
- フリップ・フロップ（リレー再生）（次ページ c）
- ジョグダイアル・ピッチベンド±100%
- プログラム可能な 4 つのキュー/サンプル・ボタン（各ボタンに約 7 秒のサンプルが可能）
- 508 ポイントのプログラム可能なキュー･ポイント(127×4)（次ページ d）
- ピッチ調整：±4%、±8%、±16%、±100%
- インスタント・スタート/10 ms
- ミュージックマスターテンポ（ピッチを変えずにテンポを変える機能）
- リアルタイム・スクラッチ機能
- リバース再生
- PAN エフェクト
- SKID エフェクト
- PHASE エフェクト
- ECHO エフェクト
- FLANGER エフェクト
- ROBOT エフェクト
- TRANS エフェクト
- フラッシュ機能（次ページ e）
- ビジュアル・マーカー・ディスプレイ（1：1）
- メモリー・バックアップ（c）
- シングル/コンティニュー再生切替
- スクラッチ・エフェクト
- スリープ・モード（次ページ f）

(a) フェーダーQ スタート・コントロール

フェーダーQ スタート・コントロール機能を搭載した American Audio 社製の ミキサーに接続して使用します。この説明書の中にあるセットアップ方法に従って CDI-500 を接続して下さい。セットアップが完了したら CD をプレーヤーに読み込みます。そしてミキサーのクロスフェーダーを左から右に動かして CDI-500 の再生機能をスタートしたり一時停止することができます。例えば、CDI-500 を 2 台使用する場合、ミキサーのクロスフェーダーが一番左にある時に、フェーダーを右に 20%ほど動かせば右のプレーヤーが再生を始めます。逆にクロスフェーダーが右にある時に左に 20%ほど動かせば左のプレーヤーが再生を開始します。この機能でスクラッチと同じ効果が得られます。CD プレーヤーでキュー・ポイントの保存をしたら、ミキサーのクロスフェーダーを左右に動かして様々な歌やサンプルを素早く呼び出せます。新しいキュー・ポイントは CDI-500 プレーヤーで簡単に選択が可能です(キュー・ポイントの設定方法の項目をお読み下さい)。Q スタート・コントロールは使いやすく、この機能をマスターすれば音楽に驚くほどの効果を加えることができます。

注意:Q スタートを正しく操作するため、ミキサーの"クロスフェーダー"は必ず左右逆転させずに使用して下さい。

(b) フリップ・フロップ

この機能は、フェーダーQ スタート機能を搭載した American Audio 社製ミキサーに接続して使用します。フリップ・フロップを使用する時は、CDI-500 を 2 台接続する必要があります。説明書の中にあるセットアップ方法に従って CDI-500 を接続します。これは片方のプレーヤーの再生が終わると次のプレーヤーの再生をスタートさせる機能です。フリップ・フロップをセットすればトラックからトラックへ、ディスクからディスクへ連続再生ができます。この機能の詳細についてはフリップ・フロップの項目をご覧下さい。

(c) メモリー・バックアップ

CDI-500 には 5 年間のメモリー・バックアップがついています。これは万が一電源コードを誤って抜いてしまった場合に備えて設定を保存する機能です。主電源を切っても最後にセットした設定を記憶しています(リピート/SGL/CTL)。CDI-500 は誤ってディスクを取り出したり電源を切っても、キュー・ポイントをメモリーに保存します。

(d) プログラム可能なキューポイント:

CDI-500 にはバンク・ボタンが 4 ケ搭載されています。127 のキュー・ポイントを各バンク・ボタンに保存することが可能で、合計 508 のキュー・ポイントを保存することができます。これらのキュー・ポイントは本体内部のメモリーに保存でき、いつでも呼び出すことができます。

(e) フラッシュ・スタート機能:

この機能は、フェーダーQ スタート機能を搭載した American Audio 社製ミキサーに接続して使用します。フリップ・フロップ機能と同様に、サンプルをクロスフェーダーを使ってスタート・ストップさせます。

(f) スリープ・モード:

本体がポーズまたはキュー・モードのまま 15 分間操作が行われないと、自動的にスリープ・モードに切り替わります。

■ セットアップ

1. パッケージ内容

・CDI-500 プロフェッショナル CD プレーヤー（本体）

・取扱説明書

・RCA ケーブル

・Q スタート用ミニ・プラグ・ケーブル

・保証書

2. 設置

本体は平面の上に設置して下さい。

3. 接続方法

1） 電源ケーブルが抜かれていることを確かめて下さい。

2） 付属の RCA ケーブルで CDI-500 のオーディオ出力端子とお持ちのミキサー等の入力端子を接続します。

3） フェーダーQ スタート対応のミキサーをお持ちの場合は付属のミニ・プラグ・ケーブルも接続して下さい。

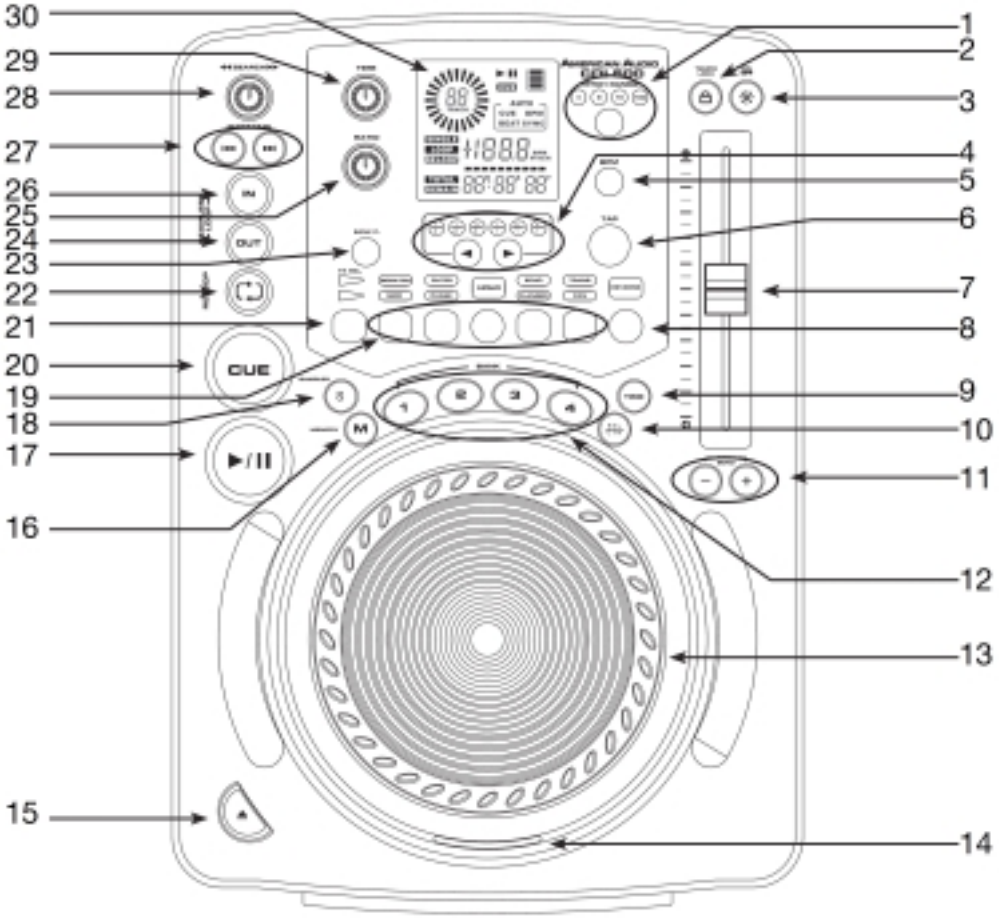
注意：

- フェーダーQ スタートの接続には必ず付属のミニ・プラグ・ケーブルをご使用下さい。それ以外のケーブルを使用すると本体が故障する恐れがあります。
- ケーブル等の接続をする際は本体の故障を防ぐ為に、必ず電源が OFF になっている事を確かめて下さい。
- 本体はフロント・パネルが垂直面から 15 度以内の傾きの時に正常に動作します。大きく傾いている際には CD の出し入れができない場合があります。

- LCD ディスプレイは図 2 の角度内ではっきりと視認できます。この範囲内で LCD が見えるように本体を設置して下さい。

■ 基本操作とコントロールの説明

トップパネル・コントロール



1. **ピッチ%セレクター**
   このボタンでピッチの可変幅を 4%、8%、16%、100%の中から選択できます。

2. **テンポ・ロック機能**
   このボタンでテンポ・ロック機能の ON/OFF をします。この機能が ON の時は、ピッチに影響を与えることなくテンポのアップ/ダウンが可能です。

3. **ピッチ・ON/OFF ボタン**
   このボタンでピッチ・スライダー機能の ON/OFF ができます。ボタンの LED が点灯している場合はピッチ・スライダーが作動している事を表しています。またこのボタンを 3 秒間押した状態にする事でディスプレイの表示がピッチ%から BPM へと切り替わります。

4. **ビート・セレクト・ボタン**
   このボタンでエフェクトのディレイ･タイムの選択ができます。ディレイ･タイムは 1/4、1/2、3/4、1/1、2/1、4/1 から選択できます。
   注意:このボタンでの選択をする前にエフェクトを選択する必要があります。

5. **BPM ボタン**

このボタンでLCD上の表示を切り替える事ができます。BPM機能が作動している場合はBPMメーターをディスプレイ上に表示します。このBPMメーターはBPMを自動で割り出し、表示します。BPM機能が作動していない場合はピッチの可変%を表示します。

6. **タップ・ボタン**

このボタンはトラックの BPM を手動で設定する際に使用します。再生するトラックによっては内蔵のBPMメーターで正確なBPMが割り出せない事があります。その際にこのボタンを使ってBPMを修正する事ができます。BPM を修正するにはトラックのダウン・ビートに合わせてこのボタンを数回タップします。この際、本体はタップの間隔から自動的にBPMを割り出し、LCD上に表示します。自動BPMカウンター機能を再び作動させるには BPM ボタンを 2 秒以上押して下さい。

7. **ピッチ・スライダー**

ピッチを調節する際にこのスライダーを使用します。ドライブにディスクが入っていても入っていなくても調節可能です。

8. **リバース再生**

このボタンを押すと、リバース・モードになり、トラックやサンプルが逆再生されます。ピッチやエフェクト等その他の機能は通常通り作動します。

9. **タイム・ボタン**

LCD に表示される再生時間/トラック残り時間/合計残り時間の表示切替をします。

10. **SGL/CTN ボタン**

この機能でシングル・トラック再生または連続トラック再生を選択します。この機能はプログラムやフリップ･フロップ・モードでも操作可能です

11. **ピッチベンド・ボタン**

（＋）ベンド機能で再生中の CD のピッチを一時的に早くすることができます。この機能で他の音源とのズレを補正することができます。これは一時的な機能ですので、ボタンから指を離せば BPM は自動的にピッチ・スライダー（5）のピッチに戻ります。このボタンを押し続けると最大で＋100%のピッチになります。

（－）ベンド機能で再生中の CD のピッチを一時的に遅くすることができます。この機能で他の音源とのズレを補正することができます。これは一時的な機能ですので、ボタンから指を離せば BPM は自動的にピッチ・スライダー（5）のピッチに戻ります。このボタンを押し続けると最大で-100%のピッチになります。この機能はあくまでも一時的なピッチ調整ですので、より正確にピッチ調整するにはピッチ・スライダーを使って別の音源とのビートをマッチさせて下さい。

12. **バンク・ボタン 1-4**

これらのボタンには 4 つのキュー・ポイント、又はサンプルを割り当てる事ができます。

13. ジョグ・シャトル・プラッター

このシャトルには 3 つの機能があります。

A. CD が一時停止になっている時やキュー･モードの時、フレームサーチ･コントロールとして機能し、キュー・ポイントを設定することができます。

B. 再生中はピッチ･ベンドとして機能します。時計周りに回すとピッチを最大 100%まで上げることができ、反時計回りの方向に回すとピッチは最大－100%になります。ピッチ・ベンドはジョグ・シャトルを回すスピードと回転数によって決められます。

C. ジョグ・シャトル・エフェクトが作動している際には BOP 機能やスピード・エフェクトの調整が可能です。

14. CD LED

この LED は CD がドライブ内に入っている状態の時に点灯します。

15. CD イジェクト

このボタンで CD を取り出します。このボタンは CD の再生中には無効です。これは CD 再生中の誤操作を防ぐための機能です。

16. メモリーボタン

このボタンを使って最大 4 つのキュー・ポイントまたはサンプルを 4 つのバンク・ボタンにプログラムすることができます。また CD を取り出した後でも、サンプルを呼び出すことができます。

17. 再生/ポーズ・ボタン

PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生からポーズへ、ポーズから再生へと操作を変更することができます。再生モード中は LED が点灯し、ポーズ中は点滅します。

18. サンプラー・ボタン

サンプラー機能をアクティブにするボタンです。この機能がアクティブになっている時、サンプルは連続ループ・モードで再生されます。

19. エフェクトと HOLD ボタン

SCRATCH/SKID ボタン

このボタンで SCRATCH 又は、SKID エフェクトを作動させる事ができます。エフェクトについての詳細は 25 ページをご覧下さい。

FILTER/PHASE ボタン

このボタンで FILTER 又は、PHASE エフェクトを作動させる事ができます。エフェクトについての詳細は 25 ページをご覧下さい。

HOLD ボタン

このボタンでエフェクト使用時に調節したエフェクトのパラメーターを固定する事ができます。この機能が作動している場合はボタンの LED が赤く点灯します。この機能が作動していない場合はエフェクト・パラメータの調整は一時的な変化となります。

ECHO/FLANGER ボタン
このボタンでECHO 又は、FLANGERエフェクトを作動させる事ができます。エフェクトについての詳細は 25 ページをご覧下さい。

TRANS/PAN ボタン
このボタンで TRANS 又は、PAN エフェクトを作動させる事ができます。エフェクトについての詳細は 25 ページをご覧下さい。

20. キュー
CUE ボタンを再生中に押すと最後に設定したキュー･ポイントに戻り、一時停止します。一時的に CD を再生する時には、キュー･ボタンを押し続けて下さい。キュー・ボタンを離すとキュー・ポイントに戻ります。

21. FX SEL(セレクト)ボタン
エフェクトは 2 つのバンクに分けて選択可能で、このボタンで各バンクの切り替えが可能です。

22. リループ・ボタン
シームレス・ループがセットされている状態で、このボタンを押すとシームレス・ループ・モードになります。OUT ボタン（24）でループを解除します。リループできる状態の時は LCD 画面（30）に「LOOP」「RELOOP」が表示されます。

23. バンク・プログラム・ボタン
このボタンを使って最大 12 の保存されているサンプルをプログラムすることが可能です。

24. OUT ボタン
ループのエンド・ポイントを決定します。ループ再生中はこの OUT ボタンを押すまでループは繰り返されます。

25. パラメーター・レシオ
このツマミでパラメーター・レシオ値の調整ができます。

26. シームレス・ループ IN ボタン
この機能を使うと CD の再生を中断させることなくシームレス･ループの起点を設定することができます。またこのボタンでキュー･ポイントを設定することも出来ます。

27. トラックボタン
＜再生方向＞
トラック選択時に使用します。このボタンを押すと次のトラックに移動します。
＜リバース方向＞
トラック選択時に使用します。このボタンを押すとトラックの始めに戻ります。

28. サーチ・ツマミ
右回りで早送り方向、左回りで巻き戻し方向のサーチを行います。両方向に 4 種類のスピードレベルがあります。

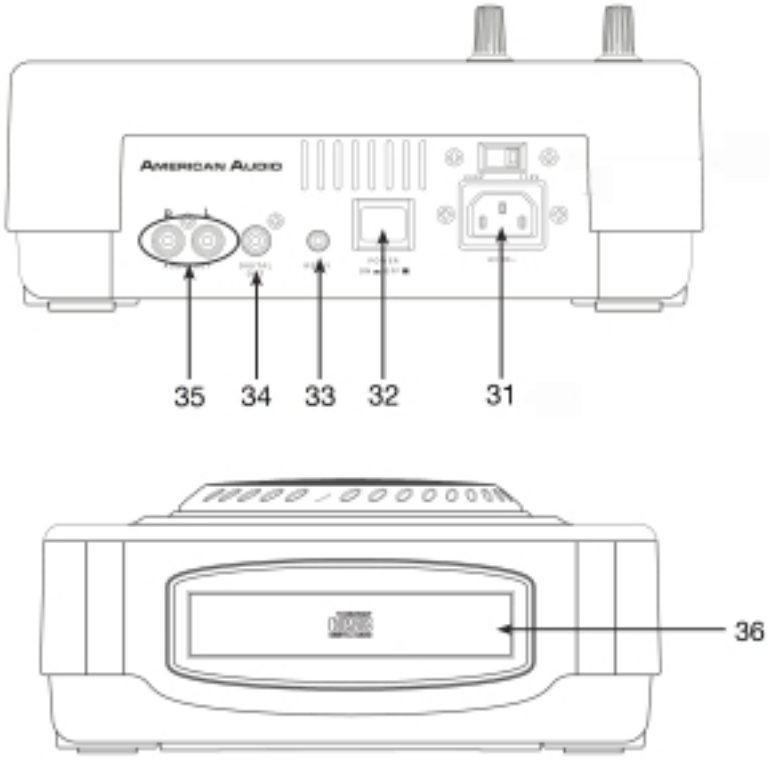
29. パラメーター・タイム

このツマミでパラメーター・タイム値を調整できます。

30. LCD ディスプレイ画面

高品質 LCD 画面が全ての機能を表示します。LCD 画面についての詳細は後述の「LCD ディスプレイ・パネル」を参照して下さい。

リアパネル



31. 電源コネクター

このコネクターから本体へ電源を供給します。絶対にアースピンを取り除かないで下さい。故障の原因となります。

32. 電源スイッチ

本体の電源 ON/OFF をします。

33. キュー・ミニジャック

リアパネルにあるフラッシュ用ミニプラグの端子と対応する American Audio 社製ミキサーのコントロール出力に接続します。この機能は American Audio 社製フェーダーQ スタート対応ミキサーのみに対応しています。

34. デジタル出力

この端子を使ってMDやCD-R 等のデジタル・レコーディング機器へデジタル・ダビングが可能です。

35. オーディオ出力

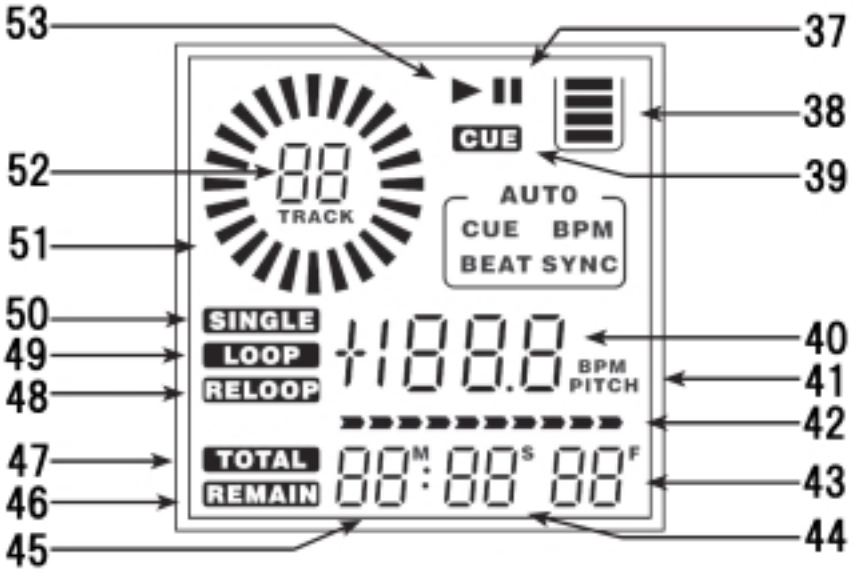
ステレオ・ピン・ケーブルでこの端子とミキサーの入力端子を接続して下さい。

フロントパネル

36. トランスポート・トレイ

このトレイは CD の出し入れに使用されます。イジェクト・ボタン(15)で CD の取り出しができます。電源が OFF の状態で無理にトレイを開けようとしないで下さい。

LCD ディスプレイ・パネル



37. ポーズインジケータ

CD が一時停止モードになっている時に点滅します。

38. メモリー・バケット・インジケーター

このインジケーターには 2 つの機能があります。まず、バケット（U 字型の外ぶち）はキュー・メモリーの状態を表します。表示されている場合はキュー・メモリーの容量がいっぱいになっている事を表します。バケット内の 4 本のバーはアンチショック・メモリーの状態を表しています。各バーにつき 2 秒分のアンチショック・メモリーを表しています。サーチ機能はすべてのバーが点灯するまで使用することができません。

39. キュー・インジケータ

本体がキュー・モードになっている時と新しいキュー・ポイントが設定された際に点滅します。

40. ピッチ/BPM メーター

ピッチ・スライダーで入力したピッチ%を表示します。

41. ピッチ/BPM インジケーター

BPM 機能が作動している場合は「BPM」、ピッチ機能の場合は「PITCH」と表示されます。

42. タイムバー・インジケータ

このバーは視覚的におおよそのトラック時間またはディスク時間を表示し、トラックが終了する時に点滅し始めます。点滅しているバーがトラックの終わりを教えてくれるので次のトラックへ移る目安にする事ができます。

43. タイム・メーター/フレーム

表示時間の「フレーム」を表します。トラックの再生時間（ELAPSED）、合計の再生時間（TOTAL）、またはトラックの残り時間（REMAIN）のいずれかを表示選択できます。選択された表示時間はそれぞれ ELAPSED、TOTAL、REMAIN で表示されます。

44. タイム・メーター/秒

表示時間の「秒」を表します。

45. タイム・メーター/分

表示時間の「分」を表します。

46. 残り時間インジケーター

LCD ディスプレイに REMAIN と表示されている場合は時間表示が現在のトラックの残り時間を表示します。

47. トータル/残り時間インジケーター

LCD ディスプレイに TOTAL と REMAIN が表示されている場合は時間表示が CD 全体の残り時間を表示します。

48. リループ・インジケーター

ループが設定されているか、設定準備可能時に表示されます。

49. ループ

この表示はループ再生中に点滅します。ループ作成されている状態で、そのループが再生されていない場合はこの表示が点灯します。

50. シングル・インジケーター

CDドライブがシングル再生モードになっていることを表示し、トラックが終了するとキュー・モードに戻ります。シングル・インジケーターがオンになっていない場合は連続再生モードになっています。連続モードではドライブがディスクの残りすべてのトラックを再生します。残りトラックの再生が終わると、キュー・モードに戻ります。

51. CD ディレクション・インジケーター

CDの再生方向を表します。反時計回りに表示されている場合はCDが逆再生されている事を示します。

52. トラック・インジケータ

キュー又は再生中のトラック番号を表示します。

53. 再生インジケーター

本体が再生中の時に点灯します。

■ 基本操作

1. **ディスクの挿入/取り出し**

CDI-500 では 12cmCD のみ再生が可能です。8cmCD、変形した CD、また楕円形の CD などは使用できません。CD をプレーヤーに差し込む時は CD の端を持つようにして下さい。ディスクのラベル面を上にして静かにディスク・トレイに乗せて下さい。また、CD の信号面(光沢面)は絶対に触らないで下さい。ディスクを取り出す時は EJECT/STOP ボタンを押して下さい。

注意:

- ディスク・トレイには 12cm オーディオ CD 以外のものを入れないで下さい。
- 一度にディスクを 2 枚以上入れないで下さい。本体の破損を引き起こす可能性があります。
- 電源オフ時に無理矢理トレイにディスクを入れないで下さい。ドライブ・システムが破損する恐れがあります。

2. **トラックの選択**

2 つのトラックボタン(27)のどちらかを使ってトラックを選択します。トラックボタンを一度押して次のトラックまたは一つ前のトラックを選択します。トラックボタンを押しつづければスキップさせて素早くトラックを変えることができます。CD 再生中にトラック・ボタンで新しいトラックを選択すれば(トラックは既に再生モードになっている)、そのトラックは検索操作完了後すぐに再生を始めます。

※リバース・トラック・ボタンを押すと前のトラックに移動します。

※フォワード・トラック・ボタンを押すと次のトラックに移動します。

3. 再生スタート

オーディオ CD を前述のように（ディスクの挿入/取出の欄参照）挿入します。CD を入れた状態で PLAY/PAUSE ボタン（17）を押すと、すぐに再生がスタートします。再生が始まると PLAY（54）インジケーターが点灯します。再生がスタートするポイントが自動的にキューポイントとしてメモリーに記憶されます。CUE ボタン（20）を押すと再生がスタートしたこのキューポイントに戻ります。

4. オート・キュー

ディスクを入れると、自動的に始めの音源にキュー・ポイントを設定します（通常はトラック 1 の頭）。

5. 再生ストップ

再生を停止してもドライブ装置は停止せず、単にトラックを一時停止またはキュー状態にしているため、本体の再生をすぐに再開することができます。ディスクを取り出すか、スリープ・モードにした場合のみドライブ装置が停止します。再生を停止（一時停止）するには次の二通りの方法があります。

1) 再生中に PLAY/PAUSE ボタン（17）を押します。PLAY/PAUSE ボタンをを押した場所で再生が停止します。

2) 再生中にキューボタン（20）を押します。すると再生が停止し、トラックは最後に設定したキューポイントに戻ります。

6. 一時停止

再生を一時停止する機能です。PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生と一時停止モードが切り換ります。一時停止モード状態の時、LCD 画面（30）の一時停止インジケーター（38）が点灯し、PLAY/PAUSE ボタン LED が点滅し始めます。

7. フレーム・サーチ

フレームごとにトラックをスクロールすることができ、スタート・キューやループ・ポイントの設定や呼び出しが可能です。このスクロール機能を使用するにはまず、一時停止モードまたはキュー・モードにする必要があります。一時停止モードまたはキュー・モードにジョグシャトル（13）を回してトラックをスクロールします。時計回りにジョグ・シャトル回せばフレーム・サーチで早送りができ、反時計回りに回すとフレーム・サーチで巻き戻しができます。ジョグシャトル使用時はモニター機能（ヘッドホン・レベル）でどのポイントをスクロールしているのか分かるようになっています。スタート・ポイントを呼び出したら、PLAY/PAUSE ボタンを押してキュー・ポイントを設定します。キューボタンを押すと設定する前のポイントに戻ります。

8. スキャン

ディスクあるいはトラックのクイック・サーチができます。サーチジョグシャトル（13）を時計方向に回せば早送りでき、反時計回りにシャトルを回せば巻戻しできます。ジョグ・シャトルを回す大きさによって、4 段階の速度で早送り・巻戻しができます

9. キューポイントの設定と保存

設定方法

PLAY/PAUSE（17）を押して再生が開始したところがキューポイントになります。ディスクのどこにでもキューポイントを設定することができます。ディスク 1 枚ごとにキュー・ポイントを 4 つ設定することができます。バンク・ボタン（12）1～3に3つ、IN ボタンに1つ保存されます。

1） IN ボタン（26）をディスク再生中に押して下さい。音楽を遮ることなくキューポイントを設定できます。キューボタン（20）を押すと IN ボタンを押した場所に戻ります。バンクボタン 1～3 のいずれかにキューポイントを保存して下さい。キューボタン（20）、又は IN ボタンを押すと保存したポイントに戻ります。

2） ジョグ・シャトルを使ってもキューポイントを設定することができます。一時停止モードまたはキュー・モードになっている間に、ジョグシャトルを使ってトラックをスクロールし、スタート・ポイントを呼び出します。設定したいポイントを決めたら再生ボタンを押してキュー・ポイントを設定します。キューボタンまたは IN ボタンを押せばここで設定したポイントに戻ります。

保存方法

前述の方法で保存したキュー・ポイントを設定したら、キュー・ポイントをバンク・ボタン（12）に保存します。一つのバンクボタンにキュー・ポイントまたはサンプル（サンプル・ループの設定方法は後述）のどちらか一方を保存することができます（両方保存することはできません）。一旦このキュー・ポイントを保存すればいつでも呼び出すことができ、ディスクが取り出してある場合でも、電源が切ってある場合でも再度ディスクを入れれば呼び出しは可能です。ディスク 1 枚につき最大 3 つまでキュー・ポイントの保存が可能、また最大 508 ヶのキュー・ポイントを本体のメモリーに保存することができます。LCD 画面のメモリー表示にはおおよそのメモリー残数が表示されます。キュー・ポイントの保存方法は以下の通りです。

1） まずメモリー・キューボタン（16）を押します。メモリーキューLED が点灯してメモリーの保存準備ができ

たことを知らせます。ここで3つあるバンクボタンのうちどれか1つを押してキュー・ポイントをメモリーに保存します。バンク・ボタンを押すと、バンク・ボタン LED がこれに反応して短く点滅します。LED はそのまま点灯してサンプルまたはキュー・ポイントのいずれかがメモリーに保存されたことを表示します。赤色のメモリー・キューLED はここで消灯します。

2） 1の手順を繰り返して最大 3 つのキュー・ポイントを保存することができます。キュー・ポイントを設定した後は、それらのポイントにいつでもアクセスすることが出来ます。後から呼び戻せるようにする際は 3 つのメモリーにキューポイントやループを保存してからメモリーボタンを 2 秒程押して下さい。セーブを認識した事を LED が一度点滅する事で知らせます。保存を呼び出すには CD を挿入する前にメモリーボタンを押して LED が点灯している事を確認してください。キューポイントを保存した CD を挿入すると、ディスプレイに“RECALL”と表示します。これで保存したキューポイントを呼び戻せます。そして音楽を遮ることなく即座にそのキュー・ポイントをスタートさせることが可能です。これらのキュー・ポイントにアクセスするためには、キュー・ポイントを設定したディスクがドライブに入っていなければなりません。

10. シームレス・ループの設定および再生

シームレス・ループとは音の輪のことで、とぎれなく任意の A－B 間を連続再生することを言います。このループには制限時間がありませんので、CD の最初から最後までループすることもできます。
ディスク上の 2 つの連続したポイントにシームレス・ループを設定します。

1） PLAY/PAUSE ボタンを押して CD を再生します。

2） IN ボタンを押します。これでシームレス・ループのスタート・ポイントが設定できました。IN ボタン LED が点灯します。

3） OUT ボタンを押してシームレス・ループのエンド・ポイントを設定します。IN ボタンと OUT ボタンの LED が点滅してシームレス・ループ・モードがアクティブ中であることを知らせます。

LCD ループ・インジケーター

シームレス・ループ設定中は LOOP と RELOOP インジケーターが LCD 画面で点滅し、ループがアクティブになっていることを知らせます。

ループの解除

シームレス・ループを解除するには、OUT ボタンを押します。IN ボタンと OUT ボタンの LED はそのまま点灯していますが、点滅が止まります。音楽の再生は、再び通常再生に戻ります。IN ボタンと OUT ボタンの LED はそのまま点灯し、ループがメモリーに保存されていることを知らせます。

設定されたループに戻って再生を繰り返す

RELOOP 機能を使用すれば、保存してあるループにいつでも戻ることができます。IN ボタンと OUT ボタンの LED が、ループがメモリーに保存されていることを表示していれば、いつでもループに戻る事ができます。ループを再開するには RELOOP ボタンを押して下さい。IN ボタンと OUT ボタンの LED がもう一度点滅し始めて保存されたループの再生を開始します。

11. ループの編集

ループのエンド・ポイントのみ編集可能ですのでご注意下さい。ループの長さを短くしたり長くしたりすることができます。エンド・ポイントを編集する前に、まずシームレス・ループが既に設定されている必要があります。まだシームレス・ループを設定していない場合はステップ 10（前項）の説明に従って設定して下さい。シームレス・ループのエンド・ポイントのエディット方法は以下の通りです。

1） OUT ボタン（24）を押し、ループの再生から通常の再生に戻ります。これでシームレス・ループ・モードが解除され、ループのエンド・ポイントを編集することができます。

2） 新しいエンド・ポイントを決め、OUT ボタンをもう一度押します。

12. ビルトイン・サンプラーを使う

CDI-500 にはサンプラーが内蔵されています。4 つのバンク・ボタン（12）にそれぞれサンプルを保存することができます。サンプルは最長で約 7 秒の長さまで保存が可能です。CD 再生中、もしくは CD ドライブが一時停止モードになっている時、あるいは CD がプレイヤーに入っていなくても、サンプルを呼び出すことができます。設定したサンプルはどんな時でも音楽を遮ることなく再生することができます。すでに再生モードになっている時にサンプルを再生した場合は、その時の音源の上に重ねてサンプルが再生されます。また、サンプルは一度きりの再生でも可能ですし、連続したループの再生も可能です。キュー・ポイントと同様に、最大で 127×4 のサンプルを保存できます。LCD 画面のメモリー表示（39）にはおおよそのメモリー残量が表示されます。

サンプルを作るには

1） ループ再生を開始します。ループの長さが 7 秒以上だとサンプルとして保存することは出来ず、キューポイントとして保存されます。

2） メモリーボタン（16）を押します。メモリーボタンの LED が点灯し、メモリーの保存準備ができたことを知らせます。

3） ループを保存したい場所を 4 つのバンク・ボタン(12)のうちから一つ選び、そのボタンを押します。

4） サンプルがメモリーの中に保存されると、メモリーボタンの LED が消えます。

5） ここでサンプルはメモリーに保存されました。サンプルを設定するのに使用したオリジナルのループは OUT ボタン（24）を押さない限りそのまま再生されます。

6） 本体が一時停止モードになっていたとしても、いつでも設定したサンプルを呼び出すことができます。サンプルを呼びだすときには、サンプル・ボタン LED がオンになるまでサンプルボタン（18）を押します。必ずサンプル機能がオンになっていることを確認して下さい。連続したループでサンプルを再生する場合はサンプル機能をオンにしたままにして下さい。サンプルを一度だけ再生するには、サンプル開始後すぐにサンプル機能をオフにします。サンプル機能がオンになっていると、オフにするまでサンプルは連続的にループ再生を続けます。

注意：サンプル機能がオフのままバンク・ボタンを押すとキュー・ポイントとしての再生を行います。

13. サンプル・パラメーターの調整

サンプル・パラメーターを調整する事でサンプルの音量（SV）とピッチ（SP）を変更する事ができます。ピッチのパラメーター可変幅は－10：00~＋10：00、ボリュームは 00：00~02：55 となっています。ここの機能で調整できるピッチ値はサンプルの再生スピードのみに影響し、音程を変えられるわけではありません。この値は一時的な変更ですが、調整した値を固定する事もできます。サンプル値はサンプル再生モード中、簡単な 3 つの手順で変更できます。

スピード：サンプル再生中にパラメータタイム・ツマミ(29)を押します。一度押すと LCD 画面には SP+0 00 と表示されます。SP とはピッチ・パーセンテージ（スピード）を表します。+0 00 はデフォルト（通常再生）です。このつまみを時計回りに回すとピッチが上がり、反時計回りに回すとピッチが下がります。

ボリューム：サンプル再生中にパラメータ値ツマミ(25)を押します。LCD ディスプレイには SV10 00 と表示されます。SV はサンプル・ボリュームを表します。02 55 がデフォルト設定です。このつまみを時計回りに回すとボリュームが上がり、反時計回りに回すとボリュームが下がります。

ホールド機能：パラメータ調整値を保存/ロックします。ホールド機能が作動していない場合は、パラメータ値の変更は一時的な変化となり、保存されません。ホールドボタン(19)を押すと、その時点でのパラメータ値は次に変更されたり本体の電源が OFF になるまで保存されます。

14. バンク・ボタン(12)

このボタンを使ってサンプルやキュー・ポイントを保存します。サンプルまたはキュー・ポイントのみ、4つあるこの FLASH ボタンに保存することが可能です。バンク・ボタンを使えば、音楽再生を遮ることなく保存したサンプルやキュー・ポイントをどれでもすぐに呼び出して再生することが出来ます。本体がサンプル・モードになっていて、ドライブが一時停止になっている時でもバンク・ボタンを押せば、すぐにサンプルの再生を開始します。

15. バンク・プログラム・ボタン（23）

バンク・ボタンにサンプルを保存すると、希望通りの順番にサンプルの再生をする事ができるようになります。4 つのバンクに入ったサンプルを合計 12 回まで連続再生する事が可能です。再生中の CD を止めずにサンプルの再生が可能です一度保存されたサンプルは本体がポーズ状態の時や CD を取り出した後でも使用することができます。

サンプルのプログラム

1）サンプルを保存したらバンク・プログラム・ボタン（23）を押して下さい。この時ピッチ・　BPM メーターに+1 と表示されます。

2）次にサンプルの再生順をプログラムします。保存されているバンクをお好みの順序で押して下さい。例：バンク 1；バンク 3；バンク 2；バンク 1；バンク 4。プログラムの最後にバンク・プログラム・ボタンを押して下さい。

3）プログラムしたサンプルを再生するにはサンプル・ボタンを押してからバンク・プログラム・ボタンを押して下さい。

16. 時間表示の切替（35,36,37）/タイム・バー（34）

通常再生時には TIME ボタン（6）を押すと LCD 画面の時間表示（35,36,37,34）が切替わります。時間表示の詳細は次の通りです。

1） 再生時間/ELAPSED：LCD 画面には現在のトラック再生時間が表示されます。

2） 残り時間/REMAIN（38）：LCD 画面には現在のトラックの残り時間が表示されます。

3） 総残り時間/TOTAL REMAIN（39）：LCD 画面にはディスク全体の残り時間が表示されます。

タイム・バー・インジケーター

タイムメーターの時間がバー・アイコンで表示されます。タイムメーターと同じく、時間は選択した表示（総残り時間・残り時間・再生時間）によって表示されます。トラックが終わりに近づくと、どの時間表示を選択しているかに関係なくバーは点滅し始めます。点滅するバーをトラック再生終了までの目安としてご利用下さい。

■ システム・メモリー

17. システム・メモリー

CDI-500 には優れたメモリーシステムが搭載されています。キューポイントや、CD を使用して作成したサンプルなどを保存します。保存の仕方は、メモリーボタンを約 1 秒押し続けます。メモリーに保存されると、メモリーLED は消えます。メモリーがフルになると、メモリーバケットの赤い外枠が消えます。

18. バンク・メモリーを呼び出す

CDI-500 にはユーザープログラムされたキューポイントをすべて保存することが出来ます。パラメータ等を保存した CD を一度取り出したとしても、次に CD を挿入した時に保存したデータを呼び出すことが出来ます。メモリーを呼び出す方法は以下の通りです。

1） CD が本体に入っていないことを確認して下さい。

2） メモリーLED が点灯するまでメモリーボタンを押して下さい。

3） CD を挿入します。メモリーがインストールされている間は RECALL が LCD 画面に表示され、メモリーLED が消えます。

19. メモリーの削除

ユーザープログラムメモリーをすべて削除し本体をデフォルトの状態に戻します。デフォルトに戻す方法は、電源を OFF にし、サーチ・ホイール（28）を左に回しながら電源を ON にして下さい。LCD 画面が 3 回点滅し、デフォルトメモリーに戻ります。

20. ファームウェア・バージョン・ディスプレイ

本体のファームウェア・バージョンを表示することが出来ます。ファームウェアとは本体の内部プログラムコードのことです。ファームウェア表示の方法は、電源を OFF にし、サーチ・ホイール（28）を右回りに回しながら電源を ON にして下さい。

■タッチセンシティブ・ジョグホイール/BOP エフェクト

ジョグホイール・タッチセンシティヴィティー

この機能は、スクラッチ・エフェクトと併用する事で効果を発揮します。この機能を使うと、再生やキューなどの操作がジョグホイールに触れる事によって可能となります。

BOP エフェクト

BOP エフェクトはターンテーブルのスクラッチのような効果が得られるエフェクトです。効果的に使う事でミックス時にトリックを盛り込む事ができます。

タッチセンシテヴィティー機能の作動

再生やキューなどの操作をジョグホイールで行う為にはまずタッチセンシテヴィティー機能を作動させる必要があります。この機能を作動させるには初めに FX SELECT LED（21）が緑色に点灯している事を確認します。その次にFX SELECT LEDを押しながらスクラッチ・ボタン（19）をLEDが赤色に点滅するまで押し続けるとタッチセンシテヴィティー機能が作動します。

再生中に

タッチセンシテヴィティー機能が作動している時は、再生中にジョグホイールを使って最後に設定したキュー･ポイントに戻る事ができます。ジョグホイールに触るだけで最後に設定したキュー･ポイントに戻って再生を始めます。つまりこの場合ジョグ・ホイールで BOP エフェクトを作り出す事も可能です。

キュー状態で

タッチセンシテヴィティー機能が作動している時は、キュー状態の場合ジョグホイールに触れる事で再生を開始する事ができます。ジョグ・ホイールから手を離すまで再生を続け、離すと最後に設定したキュー・ポイントに戻りキュー状態になります。

■ピッチ調整

ピッチ調整によりトラック/ループの再生スピードを操作できます。主に、BPM を合わせるために使用します。再生スピードは±100%の範囲で調整可能です。ピッチ調整の手順は以下の通りです。

1. **ピッチ・スライダー(7)**

   再生スピード、つまりピッチの上げ下げをします。ピッチ操作の最大値は±100%です。ピッチ・スライダーを上げるとピッチが下がり、スライダーを下げるとピッチが上がります。ピッチ・スライダー調整値の幅は±4%、±8%、±12%、±16%、±100%です。ピッチ調整はピッチ ON/OFF ボタンが ON の時には再生、逆再生、ループ再生に反映されますが、サンプルには反映されません。

   ピッチ・スライダーの ON/OFF

   ピッチ・スライダーを使用するにはピッチ ON/OFF ボタン(3)を ON にします。ピッチ ON/OFF ボタン LED が点灯します。

   ピッチ・スライダーの使用方法

   ピッチ ON/OFF ボタンが ON になっていることを確認して下さい。スライダーを上下に動かすことでピッチ調整を行います。スライダーがセンターポジションにあるとき緑色の LED が点灯し、ピッチ調整の値は「0」となります。

ピッチ・スライダー値を調整する

ピッチ・スライダーの設定値の幅を変更することができます。この幅を変更するには、ピッチ機能がON になっていることを確認して下さい。ピッチパーセンテージ値は±4%,±8%,±12%,±16%,±100%に変更することが可能です。

2. ピッチ・ベンディング

トラックの再生スピードを一時的に早くしたり遅くしたりする機能です。この機能を操作するには 2 つの方法があり、(ー)と(+)ピッチ・ボタンで操作するか、またはジョグホイール(13)を使って操作します。ピッチベンドの最大値は±100%です。ピッチベンド機能はピッチ・スライダーのピッチ設定と平行して作動します。例えば、ピッチ・スライダーが+2%で設定されている場合には、ピッチベンディングのスタート地点も+2%からとなり、最大値は±100%となります。

注意:ー100%のピッチ操作では、再生が完全にストップします。
(−)ピッチベンドボタンを押すと再生ピッチが下がります。
(+)ピッチベンドボタンを押すと再生ピッチが下がります。

ピッチベンドボタン(11)

(+)ピッチベンドボタンはピッチを上げ、(ー)はピッチを下げます。どの程度ピッチを変更するかはボタンを押している時間に比例します。例えば、(+)ピッチベンドボタンをずっと押し続けていると、ディスクのスピードは上がり、最高 100%のピッチに達するまで上がっていきます。(+)ピッチベンドボタンから手を離すと、ディスクスピードは自動的に元のスピードに戻ります。

ジョグホイール(13)

トラックが再生モードなっていれば、ジョグホイールで一時的にピッチを変更できます。時計周りにジョグホイールを回していくとトラックのピッチが上がり、反時計周りに回すとトラックピッチは下がります。ジョグホールを回すスピードがピッチベンド値を決定します。ジョグホイールを左回りに回し続けると、再生スピードは徐々に下がりー100%に達すると停止します。
注意:スクラッチ・エフェクトが作動している際にジョグホイールでピッチベンド機能を使用する場合には、外側のリングを使用して下さい。

■ビルトイン・エフェクト

CDI-500 は 9 つの内蔵エフェクトを搭載しています。エフェクトは同時に 4 つまで使用できます。内蔵エフェクトの種類は SCRATCH、SKID、FILTER、PHASE、FLANGER、ECHO、ROBOT、PAN、TRANS となっています。4 つのエフェクト・バンクは同時に使用可能で、1 つのエフェクト・バンクに対して 1 つのエフェクトを登録できます。エフェクトはデフォルトのパラメーター設定でも使用可能ですが、パラメーターを調節する事でカスタマイズする事も可能です。パラメーター値は各エフェクトによって異なり、パラメーターの変更でエフェクトに大きな変化を付けられるエフェクトもあります。パラメーターには調整可能な PR（Parameter Ratio）と PT（Parameter Time）と言うパラメーター値があります。

FX セレクト

FX セレクト・ボタン（21）を使って 2 つのエフェクト・バンクを交互に切り替える事が可能です。FX セレクト・ボタン LED が緑に点灯している場合は SCRATCH、FILTER、ECHO、ROBOT、TRANS を含む上部のエフェクト・バンクにアクセスしている事を表し、青に点灯している場合は SKID、PHASE、FLANGER、PAN を含む下部のエフェクト・バンクにアクセスしている事を表します。FX セレクト・ボタンを押して切り替えて下さい。

SCRATCH/SKID エフェクト

SCRATCH エフェクトはリアルタイムでターンテーブルによるスクラッチを再現します。SKID エフェクトはターンテーブルの STOP ボタンを押した時のような、急激なストップによる効果を再現します。SCRATCH エフェクトが作動している場合は SCRATCH LED が緑に点滅します。SCRATCH エフェクトを作動させるとジョグ・ホイール（13）がターンテーブルのプラッターと同様に使用する事ができるようになります。

FILTER/PHASE エフェクト

FILTER、PHASE は原音を調節し音色に変化を加えるエフェクトです。FILTER エフェクトが作動している時には FILTER LED が緑に点滅し、PHASE エフェクトが作動している時には PHASE LED が青に点滅します。

FLANGER/ECHO/ROBOT エフェクト

FLANGER エフェクトは出力信号を歪ませ、各周波数のバランスを変化させます。ECHO エフェクトは出力信号にエコー（反響音）を加えます。ROBOT エフェクトは出力信号を歪ませ、ロボットのような声を再現します。FLANGER エフェクトが作動している時には FILTER LED が青に点滅し、ECHO 又は ROBOT エフェクトが作動している時には ECHO LED が緑に点滅します。

ROBOT エフェクト

ROBOT エフェクトは出力信号を歪ませ、ロボットのような声を再現します。ROBOT エフェクトは ECHO パラメーターを使用して作動する事ができます。ROBOT エフェクトを作動させるにはまず ECHO エフェクトを選択します。次に HOLD（19）機能を作動させパラメーター・タイム・ツマミ（29）で PT 値を 0010 に設定します。PT 値を設定した後でパラメーター値（25）を上げ下げする事でこのエフェクトを作り出す事ができます。

FLANGER エフェクト

FLANGERエフェクトは出力信号を歪ませ、各周波数のバランスを変化させます。FLANGERエフェクトはパラメーター･タイム(PT)とパラメーター・レシオ(PR)の 2 つのパラメーターで調整可能です。PT は FLANGER のモードを調整し、PR は周波数を調整します。次のパラメーターの項をご覧下さい。

ECHO エフェクト

ECHO エフェクトは出力信号にエコー（反響音）を加えます。ECHO エフェクトはパラメーター･タイム(PT)とパラメーター・レシオ(PR)の 2 つのパラメーターで調整可能です。PR はエコーの長さを調整し、PT はエコーの間隔を調整します。

TRANS/PAN エフェクト

TRANS エフェクトはリアルタイムでミキサーによって作り出されるトランスフォーマーエフェクトを再現します。TRANS エフェクトが作動している場合は TRANS LED が緑に点滅します。PAN エフェクトは出力を右チャンネルから左チャンネルへと繰り返し切り替えます。TRANS エフェクトが作動している場合は TRANS LED が青に点滅します。

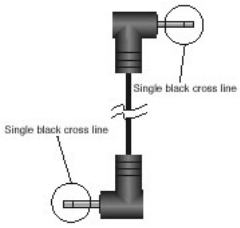
パラメーター

すべてのエフェクトはパラメーターによって調整可能です。パラメーターはエフェクトの効果を変化させます。パラメーター・メニューを選択するにはまずどちらかのパラメーター・ツマミを押す又はひねります（25、29）。パラメーター・モードになると LCD のタイム・ディスプレイがパラメーターの状態を表示するようになります。PAN エフェクト以外はパラメーター･タイム(PT)とパラメーター・レシオ(PR)の 2 つのパラメーターで調整可能です。

HOLD ボタン

HOLD ボタン（19）を作動させると調整したパラメーター値を固定する事ができます。この機能が作動していない場合はパラメーターの変更は一時的な変化となり、自動で徐々にデフォルトの値へ戻ります。HOLD 機能が作動している場合は HOLD ボタンが赤に点灯します。

3. フリップ・フロップ機能



CDI-500 を 2 台と DJ ミキサー1 台を使用する場合、一台目の再生が終了するともう一台の再生がスタートします。シングルトラック、ディスク全体、2 台の組み合わせをフリップフロップすることが出来ます。

シングルトラックをフリップ・フロップする:

1) 前述のセットアップ方法に従ってシステムを接続します。
2) American Audio 社製 Q スタート対応ミキサーのクロスフェーダーを中央にセットします。
3) 2 台の CDI-500 をシングル・モードの再生に設定すると、SINGLE の表示が LCD 画面に表示されます。
4) 2 台の CDI-500 に CD を挿入します。
5) 2 台ともキュー・ポイントを設定したら、再生開始するプレーヤーの PLAY/PAUSE ボタンを押します。
6) 始めのプレーヤーのシングル・トラックが終ったら、2 台目のプレーヤーのトラックがすぐに再生を開始します。
7) 電源を止めるか機能自体をオフにしない限り、フリップ・フロップは機能し続けます。

CD 全体をフリップ・フロップする:

ドライブが両方とも連続再生モードになっていることを必ず確認し、両方のプレーヤーの LCD 画面には”SINGLE モード”の表示がでていないかどうかも確認してください。シングル・トラックの場合と同様の手順に従って下さい。1 台目のプレーヤーのディスクが終ると、もう1台のプレーヤーがすぐに再生を開始します。

注意: ユニット本体についている“シングル再生”または“連続再生”のどちらかを選択すれば、どちらの再生モードも使用可能です。

フリップ・フロップをコントロールするには、CDI-500 を American Audio 社製 Q スタート対応ミキサーに接続します。1/8 インチのミニプラグを CDI-500 のリアにあるコントロール接続から American Audio 社製 Q シリーズ・ミキサーのリアにある 1/8 インチのコントロール端子に差し込んで接続します。これでフリップ・フロップのセットは完了です。

AMERICAN AUDIO